

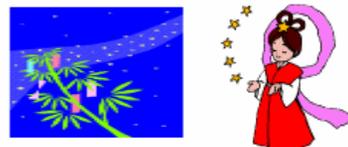
ホーミー住まい教室に来てみませんか？

教室の時間は約3時間です。テキスト・ビデオを使って教室講師と楽しく勉強してまいります。一切の強制、強要はありません。お気軽においでくださいませ。

要予約 (0547) 45-3501

ホームページ <http://www.e-house.co.jp/nagai/>

e-mail kk-nagai@po2.across.or.jp



木くばり

樹木の不思議 21



No.
55

発行
'07-7月

株式会社 ナガイ内

住まい教室 金谷教室

心地よい住宅は、グリーンを活用がカギ

緑は植物の葉の色。自律神経を安定させ、心身のバランスを調整する効果があるといえます。しかし、壁紙などのインテリアに使うには難しい色です。むしろ、本物の植物をインテリアに取り入れるのが緑の安らぎ効果を得るには良い方法です。室内から庭やベランダへ、さらにその先の隣家の庭や公園へと、目に入る緑が連続していけば、奥行きのある風景を楽しめます。

植物には微気候を生み出す効果がある。

樹木は根から水を吸い上げ、葉から蒸散させています。日光が当たって蒸散活動がさかんな南側では、葉から湿った暖かい空気が上昇していきます。それによって南側と北側に気圧差が生じ、北側に下降気流が発生します。直射日光が当たらない北側に発生した涼しい下降気流は、地表近くで南側に引き寄せられていきます。だから私達が樹木の下に入ったときに、涼しい微風を感じるのです。こうした樹木が生み出す涼しさを住宅に取り入れるポイントは、北側に木を植えることです。窓を開ければ、南側より、5 ~ 6 低い冷気が流れこみます。

お知らせ

10月6日(土)「住みいるフォーラム2007」バスツアーにご招待!

東京ビッグサイト国際展示場にて開催されます、ジュテック主催の国内約160社のメーカーが一同に集結する展示イベントにご招待します。観光も兼ねてのツアーになりますので、関東方面の観光地にも立ち寄りますが、まだ場所は未定です。リクエストがありましたら参考にしますのでご意見をどうぞ!どなたでもご参加できます。ご家族皆様までご参加ください。



樹幹を伝わる雨水の不思議



「水は天からもらい水」といわれる降水も、地上に達するまでの経路によって水質が大きく異なります。水蒸気からなる雲は、大気中のチリやガスを溶かし込みながら降下し、最近では酸性雨となることが多くなっています。(今年の夏は熱波が訪れ、酸性雨も降る...とか、TVで話題にしていますが。)

森林に降り注いだ雨は、葉や枝などに接触しながらしたたり落ちる林内雨だけでなく、枝や幹を伝わって流れ落ちる雨もあります。これを樹幹流と読んでいます。樹幹流の量は樹種や樹形・大きさ、季節などによっても異なりますがその流量は意外に多く、20年生のトドマツやエゾマツ人工林の場合、降水量の約5%~20%が、樹幹流として林地に流れ込みます。

多くの樹種の樹幹流は降水のpHより高く、特に広葉樹で高い傾向があります。このような樹種の樹幹流は降水の酸性をやや緩和して土壌に流入します。しかし、アカエゾマツやカラマツ、スギなどの樹幹流は降水のpHよりかなり低く変化し、降水の酸性を助長する傾向がみられます。

樹幹流は幹を伝わって根株周辺など限られた部分に集中して流れ込みます。そのため樹木の根元の土壌は、根元から離れた土壌に比べ、かなり違った性質になっています。スギの老齢な大木の根元周辺の土壌では、長年酸性の樹幹流が流れ込んだため、強酸性土壌となっており、都市部でのスギの衰退の一因と考えられています。

しかし、樹幹流にも効用があります。都会などで周囲をコンクリートで固められた小さな植樹柵内に植えられた街路樹が意外に元気で育つのは、樹幹流によって補給される水分が重要な役割を果たしているからです。